

港湾内における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

『最高値』→『直近(6/9-6/30採取)』の順、単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満以下の場合はND(検出限界値)と表記

令和7年7月1日までの東電データまとめ

注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

セシウム134	ND(0.30)
セシウム137	1.3
全ベータ	18
トリチウム	2.1 ※1

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24) → ND(0.36)	1/9以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11) → ND(0.24)	1/30以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19) → 14	1/4以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19) → 0.60	1/100以下

セシウム134	: 3.3 (H25/10/17) → ND(0.28)	1/10以下
セシウム137	: 9 (H25/10/17) → ND(0.28)	1/30以下
全ベータ	: 74 (H25/8/19) → ND(13)	1/5以下
トリチウム	: 67 (H25/8/19) → ND(1.6)	1/40以下

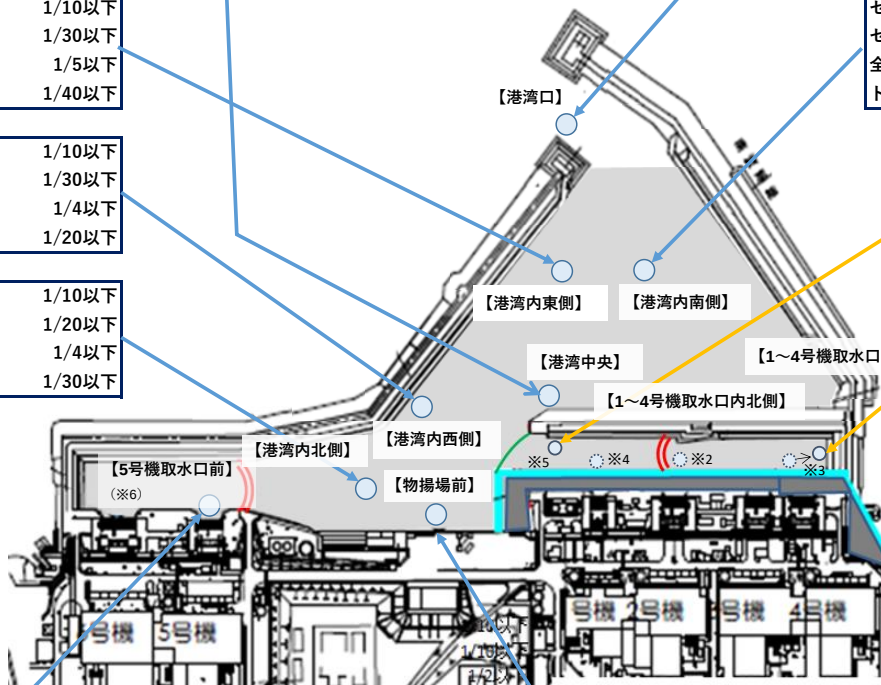
セシウム134	: 4.4 (H25/12/24) → ND(0.29)	1/10以下
セシウム137	: 10 (H25/12/24) → ND(0.28)	1/30以下
全ベータ	: 60 (H25/7/4) → 15	1/4以下
トリチウム	: 59 (H25/8/19) → 2.6	1/20以下

セシウム134	: 5 (H25/12/2) → ND(0.30)	1/10以下
セシウム137	: 8.4 (H25/12/2) → ND(0.30)	1/20以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19) → 15	1/4以下
トリチウム	: 52 (H25/8/19) → 1.6	1/30以下

セシウム134	: 3.5 (H25/10/17) → ND(0.31)	1/10以下
セシウム137	: 7.8 (H25/10/17) → ND(0.31)	1/20以下
全ベータ	: 79 (H25/8/19) → ND(14)	1/5以下
トリチウム	: 60 (H25/8/19) → ND(1.5)	1/40以下

セシウム134	: 32 (H25/10/11) → ND(0.35)	1/90以下
セシウム137	: 73 (H25/10/11) → 1.5	1/40以下
全ベータ	: 320 (H25/8/12) → ND(15)	1/20以下
トリチウム	: 510 (H25/9/2) → 2.4	1/200以下

セシウム134	ND(0.33)
セシウム137	6.4
全ベータ	ND(15)
トリチウム	31 ※1



セシウム134	: 2.8 (H25/12/2) → ND(0.35)	1/8以下
セシウム137	: 5.8 (H25/12/2) → ND(0.32)	1/10以下
全ベータ	: 46 (H25/8/19) → ND(15)	1/3以下
トリチウム	: 24 (H25/8/19) → ND(2.2)	1/10以下

セシウム134	: 5.3 (H25/8/5) → ND(0.33)	1/10以下
セシウム137	: 8.6 (H25/8/5) → ND(0.29)	1/20以下
全ベータ	: 40 (H25/7/3) → ND(15)	1/2以下
トリチウム	: 340 (H25/6/26) → 1.8	1/100以下

※1: のモニタリングはH26年3月以降開始海側遮水壁の内側は埋め立てによりモニタリング終了。

※2: 当該地点については、H30年12月12日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。

※3: 当該地点については、H31年2月6日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング地点移動。

更に当該地点について、R5年1月20日以降、港湾魚類対策としてK排水路排水口へのシルトフェンス設置を行うことから、シルトフェンス外側へ移動（採取地点は東側に約3m移動。）。

※4: 当該地点については、H31年4月3日以降、メガフロート移動の準備工事によりモニタリング終了。

※5: 当該地点については、周辺エリア工事に伴い、2023年5月25日から陸側に移動。

※6: 当該地点については、ALPS関連設備設置工事等の完了に伴い、2023年7月3日以降、「6号機取水口前」から「5号機取水口前」に移動。

	法定濃度限度	WHO飲料水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

出典：東京電力ホームページ福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果

<http://www.tepco.co.jp/decommission/planaction/monitoring/index-j.html>

港湾外近傍における海水モニタリングの状況（H25年の最高値と直近の比較）

単位（ベクレル/リットル）、検出限界値未満の場合はNDと表記し、（ ）内は検出限界値、ND(H25)はH25年中継続してND

（直近値 5/26 - 6/30採取）

令和7年7月1日までの東電データまとめ

	法定濃度 廃止濃度	WHO飲料 水ガイドライン
セシウム134	60	10
セシウム137	90	10
ストロンチウム90	30	10
トリチウム	6万	1万

【港湾口北東側(沖合1km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.36)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.38)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.32)

【港湾口東側(沖合1km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.38)
セシウム137	: 1.6 (H25/10/18)	→	ND(0.24) 1/2以下
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 6.4 (H25/10/18)	→	ND(0.33) 1/10以下

【港湾口南東側(沖合1km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.26)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.28)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.32)

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.30)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.28)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: 4.7 (H25/8/18)	→	ND(0.33) 1/10以下

【北防波堤北側(沖合0.5km)】

【港湾口】

セシウム134	: 3.3 (H25/12/24)	→	ND(0.36) 1/9以下
セシウム137	: 7.3 (H25/10/11)	→	ND(0.24) 1/30以下
全ベータ	: 69 (H25/8/19)	→	14 1/4以下
トリチウム	: 68 (H25/8/19)	→	0.60 1/100以下

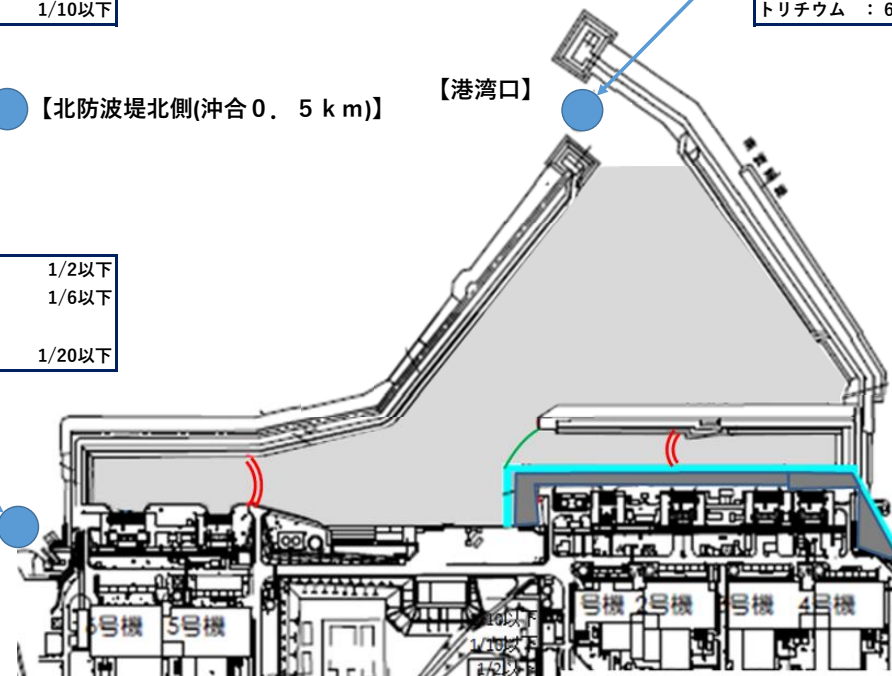
【南防波堤南側(沖合0.5km)】

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.29)
セシウム137	: ND (H25)	→	ND(0.33)
全ベータ	: ND (H25)	→	ND(14)
トリチウム	: ND (H25)	→	ND(0.32)

セシウム134	: 1.8 (H25/6/21)	→	ND(0.82) 1/2以下
セシウム137	: 4.5 (H25/3/17)	→	ND(0.67) 1/6以下
全ベータ	: 12 (H25/12/23)	→	11
トリチウム	: 8.6 (H25/6/26)	→	ND(0.32) 1/20以下

【5,6号機放水口北側】

海側遮水壁
シルトフェンス
工事用汚濁防止フェンス



注：全ベータ測定値とは、ベータ線を放出する放射性物質（カリウム40、セシウム137、ストロンチウム90及び子孫核種のイットリウム90など）をまとめて測定した放射能濃度である。一般に海水には、天然核種のカリウム40が12ベクレル/リットル程度含まれている。

セシウム134	: ND (H25)	→	ND(0.72)
セシウム137	: 3 (H25/7/15)	→	ND(0.64) 1/4以下
全ベータ	: 15 (H25/12/23)	→	11
トリチウム	: 1.9 (H25/11/25)	→	0.74 1/2以下

【南放水口付近（※）】

※R3年12月に採取地点の浸食により、採取地点を南放水口から南に約320mの地点から同放水口から南に約1,300mの地点に変更。
R5年9月に浸食が解消したことから、採取地点を元の南放水口から南に約320mの地点に変更。更にR6年6月11日からは浸食により採取地点を南放水口から南に約1,300mの地点に変更。